

年度	NO	学科	内容
2018	1	言語聴覚士学科	摂食嚥下・発声発話と全身の関係性～機能改善のための頭頸部・体幹の評価・治療～
2019	2	言語聴覚士学科	明日から実践できる発声発話・摂食嚥下の治療～言語聴覚士ができる起居動作や移乗動作からの介入～
2020	3	言語聴覚士学科	「新版K式発達検査～概要・検査結果の解釈と他職種間コミュニケーションの実際～」